

《参加者の日記》

【3月25日】

R.K

夕方から事前研修が始まりました。自己紹介を兼ねたゲーム、地雷に関するDVD鑑賞をしました。始まったばかりだからか、みんな落ち着いた感じ。でもまあ、さすがカンボジアに行くだけはあるなと思いました(?) 研修では日本文化紹介の準備もしました。折り紙の練習、もう少ししてくればよかった…。歌の練習もしました。歌のほうは家で練習してきたのでひとまず安心。カンボジアではたくさんの方のことを学んで、そして逆にカンボジアの人たちに色々なことを伝えたいと思っています。でも上手に伝えるのは大変そうなので、まずはとにかく楽しんでいけば気持ちくらいは伝わるかな、と思います。今回のメンバーのみんなでいっぱい楽しんでいい思い出を作りたいです!

K.O

ホテルでの事前研修で1番印象に残ったのは、CMACと地雷についてのDVDだった。DVDを見て、事前に調べてはいたが、カンボジアには地雷を踏んだりして手足のない人が多くいて、まだ地雷がたくさん埋まっている現状を改めて理解した。一方、日本が資金援助をしている国の中で1番お金を出していることは初めて知った。これからも支援を続けてほしいと思った。その他には、歌の練習や折り紙の練習をした。あと、夕食のカレーは美味しかった。

【3月26日】

R.K

朝食のバイキングの後、お隣の男子の部屋に集合してクメール語の歌の練習。私は、音楽隊長(?)に任命されましたので、みんなをしっかりとめて頑張りたいと思います。「大きな栗の木の下で」はフリ付きにしました。あとは暗記も!その後ホテルをチェックアウトして、バスで第一ターミナルへ。飛行機で成田→インチョン→プノンペンと移動し、プノンペンへ到着したのは現地時間の10時過ぎ。その後バスでホテルへ。バスから町の景色を見ようとしたけれど、暗くてよく分かりませんでした。ライトがついてない訳ではないけれど、人があまりいませんでした。まあこんな時間だからか。

R.F

今日は、朝食のバイキングでおなかいっぱい食べた後、ホテルの男子の部屋で歌の練習をした。バッチリ覚えた。荷物の整理をして、バスで成田空港に行った。初めての海外旅行でとてもドキドキした。飛行機に乗って、ビックリしたことがあった。機械がついていて、ゲームをしたり、音楽を聞いたり、さらに映画まで見れてしまうということにビックリ、そして感動した。だけど、仁川までの飛行機では少しよかったので、ねたから、使えなかった。機内食はすごくからくて、水があってもつらかった。飛行機から降りて、次の飛行機に乗るまで、空港の免税店を見た。次の飛行機に乗ったら、映画『素敵な金しばり』を見てから、ねた。プノンペンについて飛行機から降りると、いきなりむし暑くなって、「カンボジアに来たんだなあ。」と、改めて実感した。さらにプノンペンの町に着いたのは夜中だということに、人がたくさんいてビックリした。ホテルでたっぷりつかれをとって、明日もがんばるぞー!!

【3月27日】

H.S

今日は多くを学んだ1日だった。まずはトゥールスレインという刑務所の見学に行った。まだ30年ほどしか経っていませんでしたので、当時の使われていた道具や部屋などがそのまま残っていたり写真や骸骨があったり、当時の様子が描かれている絵があったので生々しかったです。多くの方があの場所で監禁されて、その後殺されたというのはあの場所に行っても未だに信じがたく悲しくなりました。殺されている写真や、死体の写真、使われた建物、部屋、亡くなった方々の顔写真、様子を描いてある絵などすべてを持っていったカメラですべて撮影しました。日本に戻ってみんなに伝えたいと思った。次に行ったのはキリングフィールドというところに行った。ここは多くの受刑者が殺された場所で中に入ると大きな建物の中に殺されて見つかった分の骸骨が山積みになっていて見ているのが本当につらかった。一番つらかったのが赤ちゃんを殺した木を見る時で前に行った刑務所内に描かれていた絵を思い出した。木には当時の跡が未だに生々しく残っていた。敷地内にあった博物館にもたくさんの方の資料があった。敷地内の映画を見て見たかった。昼はフードコートに行った。多くの現地の方が利用してじろじろ見られた。自分が頼んだチャーハンはあまり自分の口には合わなかった。そのあとにロシアンマーケットでTシャツと、サングラスと、手帳?と電球2つを購入。値切りはうまくできなかった。店の人が、演技上手すぎ。時間があっという間に過ぎたので残念だった。また行きたい!買い物した後は王宮に行った。まさかの午前中でカメラ使いすぎて充電なくなったからほんとに最悪だった。王宮はとっても豪華できれいだった。独身の王子と結婚したい。金、いっぱいカンボジア

に埋まっているし。旗が揚がっていたので王様が居たらしいのでお目にかかりたかった。そのあとに、博物館に行った。あの時は少し疲れていた。博物館の担当してくれたガイドさんの話が頭になかなか入らなかった。博物館内にあった仏像は立派なものが多くて造った人はすごいと思う。本物の仏像と、レプリカの仏像と自分とで一緒に写真が撮れてよかった。「本物、ニセモノ、とんでもないもの～」今日の名言。博物館帰りのバスに乗るときに現地の同い年ぐらいの子が忘れられないくらいよかった。カメラの充電残っていたら写真撮りたかった。手を振ってくれてほんとにヤバかった。夜ご飯はダイヤモンドホテルの近くの中華料理屋さんでたくさん食べた。特に焼きそばと餃子が絶品。チャーハンもおいしかった。ご飯の後にみんな夜のプロンペンを歩いた。昼はほとんどバス移動で町を歩くというのはあまりなかったから楽しかった。今日は約30年前の悲惨な出来事を肌で感じて思い出すと涙が出てくるほどつらかった。そして、カンボジアの文化も学ぶことができすぎてすごく内容の濃い1日だった。そして何より自分のカンボジアに対するイメージがすごく変わった。

R.F

今日は、いろいろな場所を見てまわったけれど、一番印象に残っているのはツールスレンとキリングフィールドだ。それは人間がやることなのかということを決山聞いた。ツールスレンでは生々しい遺体の恐ろしい写真が沢山あった。拷問の様子や殺害時の様子を描いた絵もかざってあった。実際に囚人が拷問を受けた場所にも行ったけれど、すごく怖かった。最後に本をすすめられた。読書好きの父のお土産に買おうと思ったけれど、その本を見るたびに暗い気持ちになりそう、それに家まで持って帰るのが怖くてやめてしまった。キリングフィールドで、一番印象に残っているのは、小さな子どもを木に打ちつけて殺したということ。私は小さな子どもが大好きだから、日本でも虐待や幼児殺害のニュースを聞くと、この人たちはどれだけ頭がおかしいのだろうと思う。あつてはならない事だと思う。その後、デパートのフードコートでチャーハンを食べた。次は、ロシアンマーケットに行った。私は、仁美さんがお店の人と値段についての交渉をしているのを見て、何か値切りたいと思ったけれど、ほしい物がなかったのでやめた。次に、王宮見学に行った。誰かが「ツールスレンやキリングフィールドとは、まったく違って、光と闇のよう。」と言ったけれど、本当にそのとおりだと思った。今日1日で、カンボジアとはどんなところなのかがよくわかった。1番うれしかったことは、カンボジアの人は笑いかけたり、挨拶をすると必ず返してくれるということ。明日からのトロピアンコ村でのホームステイがとて楽しみ！

【3月28日】

R.K

6時朝食で7時25分に出発。ガイドさんが色々なことを教えてくれました。今バイクが人気だそうです。50ccとかは小中学生も乗っているし(笑)バイクも車も日本製が人気。でもほとんどがアメリカから来た中古品。CMACの本部へ見学に行きました。そこの方から地雷や不発弾は内戦時代に埋められ、現在も数多く残っているということを知りました。だから今CMACのグループは色々なところで生活のため、そして開発のために撤去作業を行なっているそうです。日本は撤去到る機械を提供しているそうです。私も少しでいいから何か協力できたらいいな、と思いました。バスでトロピアンコ村へ向かいながら途中で昼食。美味しかったです。そして!こんなものを買って食べました~↓

- ・クモ→揚げてある。少し苦いけれど食べやすい。
- ・コオロギ→揚げてあって少し甘くしてある。大きいのと小さいのが売っていた。おいしい。
- ・タガメ→コオロギと調理法味付け同じ。外見はイマイチだけれど、干し魚を甘くした感じでおいしい。かたくて大きい。羽はむいた方がいい。
- ・カエル→手足が切ってあって中に詰め物がしてあったから、カエルの部分がほとんどなかった。残念。

なんて楽しく騒いで食べながらバスに揺られて、途中で寝たら村へ到着。皆温かく迎え入れてくれました。子供が多い。誰がどこの家の子かよくわからない。宿泊先の家の女の子に自分の写真を見せて紹介したら(写真は家族や友達の写真が多めに持っていくと楽しい)、「とてもかわいい」って書いてある紙を指差してくれました。嬉しかったです。あ、途中で水浴び(クメール語で「ムタック」!)させられました(女の子はプールで使うような丈の長いゴム入りのタオルみたいなのを借りて水浴び)。お家の人長いスカートを貸してくれました。動きやすいし過ごしやすい。お家の人よくお菓子を食べてくれます(みんな分けられるものが多い)。そしてやっぱり甘党。夜、お菓子を食べながらみんなで指差し会話帳(これ便利!)でお話しました。お父さんには家族のことや日本の仕事のことを聞かれました。姉と私の2人姉妹ってことを言ったら驚かれました。やっぱりカンボジアは子供が多いみたいです。夜は蚊帳の中で寝ました(電池式の蚊取り線香便利だった)。まあまあ過ごしやすい。

今日はCMAACに行って、そのあとにトロピアンコ村に行った。CMAACでは日本では見ることができない資料が沢山あって貴重な体験になったと思う。初めに会議室のようなところでいろんな説明を受けた。そこで地雷が埋められた理由、現在の状況、戦争時代の時の様子、けが人や地雷除去の方法や地雷除去の目的、CMAACの今後などを教えてもらうことができた。説明が終わると資料見学をした。実際の地雷をみるのは初めてなので爆発しないと分かっていても怖かった。人に使われる地雷、戦車用などさまざまな種類があるのも今回初めて知ったし、初めて触らせてもらった。見た目同様とても重くて持たせてもらった細長いミサイルなどが上空から降ってくると考えるとゾッとした。あと驚いたのが世界各国からの支援の多さに驚いた。日本をはじめアメリカやカナダ、ドイツなどの先進国が協力してカンボジアの地雷除去に支援していると知らなかったのと同じ日本人として感謝されたのでなかなか日本政府もやるな～と思った。CMAACが活動していても、まだ怪我をしてしまう人たちがいるのではやくすべての地域で安全になってほしい。昼は郊外のようなところで現地のこれぞカンボジア食というようなものを食べた。衛生的には少し心配だったけど味は想像していたよりもおいしく食べることができた。ご飯にいろんなおかずをかけて食べる方式で、たまごのオムレツみたいなのがすごくおいしかった。食べ終わった後は隣にあった市場でみんなが虫を買っているのをただただ見ていました。蜘蛛の山積みや、タガメなど…本気で無理だな～と思った。バスに乗り込んでみんなが虫を食べ始めたので写真を撮るのを止めてあげた。あの時の季莉さんは尊敬。みんなにつられて自分も挑戦してみたけど食べる事が出来ても足ぐらだった。みんなあまり抵抗なく食べていたのが不思議。トロピアンコ村に着くと村長さんが出迎えてくれた。到着するとすぐにホストファミリーの家を紹介された。ホストファザーはすごく優しくそうな人だったけど言葉が通じなくて「オーくん」としか言えなかった。逆にホストファミリーの人たちも私たちに言葉が通じないから身振り手振りで、私たちは見よう見まねでしていた。家は高床式で竹でできた床を見ると壊れそうだったので心配になった。あんなに重いキャリーバックを家の中に3つも置いたので壊れるのではないかと不安になった。一息つくって持って行った「指さし会話帳」をフルに使って自己紹介や簡単な会話をした。持って行ったお土産をあげたらすごく喜んでくれて一気に仲良くなれた感じがした。そのあとに家を出ると子供たちが家の外で遊んでいたのを見て写真を撮った。みんな、最初は近寄ってこず、話しかけても答えてくれなかったけどしばらくすると仲良くなってみんなが「遊ぼう 遊ぼう」って言ってきてくれたので嬉しかった。初日はよる10時過ぎまで家族や親せきなどがホストファミリーの家まできてお菓子を食べながらもっていった写真などをみたりして過ごした。

【3月29日】

朝から村中で何か放送みたいなものがかかっている感じがした。だから朝は早めに起きました。朝は少し涼しい。朝ごはん美味しかった!おかわりできちゃうくらい。午前中はみんな学校へ。1年生のクラスに参加して、クメール語で自己紹介と歌を発表しました。その後、折り紙、習字、風船、剣玉などをみんなで作りました。私は折り紙を作りました。かなり子供が集まってきてみんな欲しがってきました。事前にいっぱい作り置きすればよかったかも…。あとは簡単でかわいいものを折るといい。紙風船とか犬の顔、鯉などは人気。特に犬の顔(犬じゃなくてもいいけれど)はペンで描いてあげるから工夫がしやすいし、喜ばれる。あとはシャボン玉も作りました。人気だったからすぐなくなっちゃったけれどね。子供も多いから、液は多めに、吹く物も多めに。子供たちはとても笑顔でよかったです。喜んでくれたみたい。色々話しかけてくれる、わからないけれど、あ、でも、何となく分かるところは分かるかな。「1個作って」「〇〇の形に作って」「貸して」「ちょうだい」とか。楽しかったです。あまり子供が得意じゃなくてもあれは楽しめます。帰りは子供たちと手をつないだり、走ったりしながら帰りました。村の食べ物って美味しい。午後子供たちと遊びました。子供たちと湖行ったり、折り紙やお絵かき、シャボン玉で遊んだり(シャボン玉を私に向かって吹く子供が多かったのは見なかったことにしてやろう)しました。子供たちが楽しそうだから、こっちも楽しくなりました。ところでマンゴーにハマりました。ホテルで食べたのと比べ物にならない!夜は男子のホームステイ先の家で指さし会話帳でおしゃべり。

トロピアンコ村滞在 2 日目。朝から小学校に訪問しに行った。今回のスケジュールで 1 番楽しみだったので嬉しかった。初めに 1 番小さい子のクラスに行って授業をした。前日に遊んでいた子やホストファミリー先の親戚の子がいてくれたのでよかった。みんな元気で何をやっても興味を示してくれて楽しそうにしてくれたので嬉しかった。次に行ったクラスはみんな 9 歳ぐらいの子たちが多くて黙って話を聞いてくれるし、落ち着いていて授業がしやすかった。初めにしゃぼん玉をみんなで作ったけどすぐになくなるし、みんなパワーがあって大変だっ

た。そのあとに教室に戻って自分は習字のセットを持って行ったのでクラス全員の名前を書いてあげた。自分の書いた紙をみんな持って写真撮影できたので嬉しかった。学校帰りに小さい子たちが手をつないで来てくれて本当にかわいかった。家まで送ってくれてしばらくすると服に着替えて家までみんなが遊びに来てくれました。子供たちが湖に連れてってくれると言っていたのでついていくと広い大きな池？湖がありました。真ん中には大きな木が立っていて楽園のような感じでした。子供たちはみんな裸になって元気に泳いでいたので自分も泳ぎたかった。でも水がすごく汚くて…哲宗と「水、きれいだったら楽園だよね～」と話していました。みんなそれぞれ楽しそうにしているのをみて日本との違いが大きすぎて日本に戻ったらみんなに伝えてあげようと思った。この日のお昼の豚肉と玉ねぎの炒め物がすごくおいしかった。そしてこの日は学校に寄付をした。学校の塀を建てるために 25 ドルで自分の名前を入れてもらえて、みんなの役に立てるといふことなのですごく嬉しかった。

R.F

今日は、午前中に小学校訪問をした。最初に風船をあげた。1人1つずつあげたかったけれど、みんなどんどん寄ってきて、それは無理だった。それから、ふくらませない子もいて、やってあげたから、けっこう疲れた。次に、折り紙を折った。折り紙は手裏剣や、かぶとを作った。少しだけ手裏剣の作り方を覚えてくれた子がいた。けどほとんどの子は、作ってあげなければいけなくて、大変だった。それから作ったものをあげたしゅん間に解体する子もいて、軽くショックだった。2つ目のクラスは、けん玉をやった。最初はすごくしらけた。だけど、自分が拍手をしたら、失敗した時もみんな拍手をしてくれるようになった。すごくうれしかった。歌も歌った。みんな知っていると思ったけど、知っている子は1人もいなくて、一緒には歌えなかった。「しあわせなら手を叩こう」の時に、みんなおくれて手をたたくのがおもしろかった。午後は村の子ども達と遊んだ。おみやげを持っていくと、子ども達がたくさん集まって来てしまい、渡すのをやめた。みんなの名前を聞いたりして、すごく嬉しかった。夕方、バイクに3人乗りですぐ近くまでドライブした。人生初のバイクで、少しこわかったけれど、とても楽しかった。

【3月30日】

H.S

ホームステイ3日目。レンさんとリーダーが喫茶店に行くところを目にしたので一緒に連れていってもらった。町で見えずっと乗りたいと思っていたバイクに乗れて嬉しかった。喫茶店までは結構長くてバイクに乗っているときの風が心地よかった。喫茶店には英語を話せるお姉ちゃんがいてその子とずっと話をしていました。店にはビリヤードが置いてあって、人生初のビリヤードを体験しました。お姉ちゃんに教えてもらいながらやってみたけどなかなかうまくできなかった。村に戻ると子供たちが寄ってきてくれて「遊ぼう遊ぼう！」と言ってくれたので風船で遊んだり、折り紙をしたり、ひらがなを教えてあげたりしました。男の子には自分が持ってきた整髪料で髪の毛を立てさせてあげてすごく喜んでくれました。昼には自分がもっていたそうめんを作ってあげました。タレが辛かった様でめんつゆにたくさん砂糖を入れておいしいと言って食べてくれました。でも少し不評だったかな…夕方には仲良くなったランと言う女の子と祭りをしていたのでそこに行きました。行ってみると祭りの主催者みたいな人が「お参りしていきなさい。」と勧めてくれたのでカンボジア式お参りをしました。一つ、おもしろい体験ができて良かったです。明日で最後だと思うと悲しかったのでたくさん子供たちと写真を撮りました。

K.O

朝ご飯を食べ終わったらリーダーが喫茶店までホストファミリーのバイクで連れて行ってくれた。電気もガスも通ってないのにバイクは一家に一台ぐらいあった。やはりバイクは村の人の交通手段で車では大きすぎるのだろうか。（もちろんホストファミリーに聞いてないし、というか、クメール語で聞けるわけもないから僕の勝手な想像だけ。）喫茶店で注文した缶ジュースは代わりにコーヒーにしておけば良かった。冷蔵庫がないのに冷えた物が出てくるわけがないのにと飲んだ後に後悔した。（まあ、リーダーはコーヒーはお腹をこわすからやめとけて言ってたけど。）とにかくリーダー、缶ジュースごちそうさまです。その後は散歩に子どもと一緒にバレーボール。一緒にお菓子を食べながら話しをしてと、ゆったりした一日でした。

【3月31日】

K.M

今日で、とうとう村ともお別れだ。朝は、日の出を見る為に5時半に起きて、全員で見に行っただが、曇っていて見られなかった。今日は朝からどんより気分。朝食を食べ、出発の準備だけはしておいた。リーダーに呼ばれたので村長さんの家に行ってみると寄付した25\$の感謝状をもらった。時間はどんどん過ぎ、お別れの時間が近づいてくる中、僕らはお世話になったホストファミリーの方に感謝の気持ちを込めて、カレーを作っていた。切ったり、むいたり、炒

めたり、煮込んだり、と忙しかったが 1 時間でカレーは完成した。ホストファミリーの方々は「チュガニユ(美味しい)」と言ってくれた。嬉しかった。楽しかった時間は過ぎ、ついにお別れの時間がやってきた。別に悲しくはなかった。また、絶対くるから、絶対みんなと会えるから。バスに乗って 1 時間半かけて、シムレアップのホテルに着いた。途中でデザートを食べようと市場に寄った。そこでは、アヒルの 13 日目の卵を食べた。普通のゆで卵より美味しかった。そのあとは、夕食をとってナイトマーケットに行った。ナイトマーケットでは、12\$の灰皿を 4\$に、16\$のテーブルクロスを 4\$まで下げて買った。安くできるなら最初から安くしてよ、と思った。そのあとは、部屋に帰ってシャワーを浴びて寝た。

H.S

ホームステイ最終日。あっという間に最終日が来て朝から少し悲しかった。カレーを作る材料が届くまで朝早くから子供たちが家に集まってきたので遊びました。カレーの材料が届くとホストマザーとシスターが少し手伝ってくれました。それを自分たちは必死に「自分たちだけでやる!」となんかいもクメール語で連呼しました。カレーが完成すると食べる時間までの間に子供たちと走り回って遊びました。そのあとにリーダーに呼ばれて村長さんの家に行くと小学校の校長先生が来てくれていたので自分たちに感謝状を渡してくれました。なんか嬉しくて涙がでました。家に戻るとホストファミリー全員と子供たちが家に集まっていてご飯の用意をしてくれました。自分たちの作ったカレーはおいしかったです。ホストマザーは少し辛いけどおいしいと言ってくれていたのでうれしかったです。ホストシスターもおいしそうに食べてくれたのでよかったです。お別れの時間が来ると泣いてしまいました。ホストファザーとマザーが「次はいつ来てくれる?いつでも待っているから。」と言ってくれたのでまた必ず来る約束をして家を出ました。4 日も過ごす家も慣れて初めは怖かった床も最後は思い出に!と思って家の中でジャンプしたりすこし家の中を走りまわしました。お別れはすごく悲しかったけどまた来るのを待っていてくれるのでまた絶対にトロピアンコ村に来たいです。バスの中では短い間だったけど優しくしてくれた村の人たちみんなの事を考えていたら涙がなかなかとまりませんでした。シムリアップに着くと腹痛が激しくて夕食と夜の市場を行かずにホテルにて一人で過ごしました。みんなと夕食食べたかったし、市場にも行きたかった~!

【4月1日】

R.K

朝食のバイキングの後、アンコール・トムへ。門からして凄かったです。遺跡の一つ一つはとても丁寧に彫られていました。アンコール・トムは仏教とヒンドゥー教の両方を信仰しているので話も面白かったです。神話が色々あってそれに基づいて遺跡がつくられていたからとても興味深かったです。アンコール・ワットは昼食後に行きました。アンコール・ワットとはお寺のことで、アンコール・ワットの中には、ビシュヌ神の像や、10mにも渡って続く壁画、壁いっぱい彫刻など見所満載で楽しかったです。それぞれに特徴があって、とても丁寧に描き出されていました。アンコール時代の人々のことがよく分かりました。夕方には、アンコール・ワットがきれいに見えるというプノンバケンという山に登りました。頂上に登ってから日が沈むまでにまだ時間があったので、光舟と階段を少し降りて1周してから戻ろうとしたら、もう登り階段が大混雑していて結局上に戻れませんでした。その場所からも夕日は見られたけれど、少し残念でした。仕方がないのでまたカンボジアに来たときに見に行きます。帰りは象に乗りました。少し揺れたけれど楽しかったです。昔の王様は象に乗っていたそうなので同じ気分になりました(笑)夕食はカンボジアの伝統的な舞踊を見ながら食べました。舞踊にもカンボジアの歴史や文化がよく表れていてとても素敵でした。たくさん経験でした一日でした。

H.S

今日は世界遺産のアンコールワット、アンコールトムの観光をしました。写真で見るとは迫力が違ってものすごいパワーを貰えました。でも長い事歩いたので本当に疲れました。あんな大きな建物を造ったのが人間だとは考えられないくらいの迫力でとても大きくて機械もないのに当時の人はすごいと思いました。いろいろな角度から見えた景色はどれも美しく歴史を感じることができました。絵に描いたような美しさで建物の外も、中も、周りの景色も見ていて心がきれいになった気がしました。ここでは各国の観光客がいてそれを見るのも面白かったです。あと、ピエップさんが「にこにこ~よんこ。」と言って撮影してくれたのがおもしろかったです。夕食はアプサラダンスを見ながらピュッフェでした。食べ物はおいしかったけど、ダンスに集中しすぎて自分のたくさんとってきたものがあまり食べられなかったので残念でした。ダンスが上手だったのかは分からないけど、ストーリーが分かって面白かったです。ピエップさんが 1 番前の席をとってくれたのでピエップさんすごいな~。

K.O

村を出ていよいよ旅も中盤から終盤へ。この辺りになってくると残りの日数が気になるのは自分だけだろうか?アンコールトム・ワット・タプロームなどを今日は回った。いたる所にあ

る頭がない石像は泥棒に頭を持って行かれたのだとか。何で頭を持って行くのか聞いたら昔は頭が1番売れたからだそうだ。そういえばガイドさんはピエップさんって人で口癖は「～ですます。」日本語勉強中らしいけど結構上手だった。日本の友達につけられたあだ名は「かちゃんペ」です。って言われたときにはみんな大爆笑だった。ピエップさんがアンコールトムは王様が急いで作らせたから質が良くてアンコールワットはゆっくり作ったから質がよいてって言った。確かに言われてみればそんな気もするが800年ぐらい前にあんなに大きい建築物を造れるのだからそれだけで十分スゴイだろうと思う。それとプノンバケンという山からおりるときに人生初、象に乗った。そこそこ揺れたが眺めがとても良かった。昔の王様になったみたいだった。

【4月2日】

R.K

朝食は遅めの8時。まあみんな少し疲れていたみたいだしね。ところで私は焼けました。日焼け止め塗ったけれど。9時に出発してトンレサップ湖へ。トンレサップ湖は東南アジア最大の面積の湖で、そこには約15000人の水上生活者がいて年々増加しています。それらのほとんどの人は土地がなかったり、漁業で生計を立てたりするので水上で生活するそうです。湖には家のほかにも市場、学校、教会、バスケットコートなどがありました。たくさんあって楽しそうだったけれど、私たちにとって、湖の上に家を浮かべるなんて想像も出来ないことだったので不思議な気分になりました。舟を少し運転させてもらえました。カンボジアではボートの運転に免許は必要ではないそうです。少し緊張したけれど面白かったです。でも哲宗が舟を座礁させちゃった時にはビックリしました。しかもその影響でエンストもしちゃったし…(笑)昼食は中華料理を食べに行きました。そして!再びカエルにチャレンジ!カエルのぶつ切りだったから少し食べづらかったけれど、鶏肉に似た感じでした。お寺にも行きました。きれいでカラフルなお寺でした。少しお買い物をした後に夕食。おいしいカンボジア料理を食べました。その後はみんなでナイトマーケットへ。私も値切りを頑張ってみました。日本人の方がいるお店もあったので、そのお店でもお土産をいっぱい買いました。体調は良好。明日出発だと思うとさみしいです。

H.S

この日はトンレサップ湖に行きました。行く途中に広い蓮畑が満開?に咲いていてきれいでした。湖に着くと若いお兄さんと14歳の男の子が自分たちの船に付いてくれました。いい感じの人で日本語もうまくて驚きました。乗船場をでてワニの養殖場を見に行きました。ワニをあんなに至近距離で見たのは初めてだったのでテンションがあがりました。そのあとに哲宗から聞いていた‘一寸法師(女ver.)’に会うことができました。器用に金盃を漕いでる姿はけなげでかわいかったです。一緒に写真も撮れていい思い出になりました。ああやってお金を稼いでいるのを見ると少し心が痛みました。帰り道は行き同様、少し船を運転させてくれました。我ながら運転は上手いと思いました。昼はシムリアップに戻って市内の中華料理屋さんでご飯を食べました。そのあとは買い物をたくさんしました。MADAM SACHIKOのお店に行ってお土産を買い、寺に行って40ドル寄付をして家族の名前と自分の名前を書きました。自分で名前を書けたのは嬉しかったし、貴重な経験になりました。いいことをしたので今後の自分と家族の生活でいい出来事が起きるといいです。次は家族を連れてこの場所に来たいです。そのあとに市場に行って自分が欲しかった現地ズボンが4枚購入できたのでうれしかったです。店員さんもたくさんおまけしてくれたのでよかったです。たくさんお土産をかったので手荷物がパンパンになるほどでした。夕食は疲れていてあまり食べられなかったのが残念。全部おいしかったです。でも特にかぼちゃプリン!あとは店員さんがかっこよかったです。顔小さすぎでした。(笑)そのあとに夜の市場で買い物をしました。昼間にたくさん買ったのであまり買いませんでした。

【4月3日】

R.K

6時の朝食の後、長い時間車に乗ってCMACの地雷撤去の現場へ。でこぼこ道だったから、車がかかなり揺れて大変でした(しかも天井が低かったから座っていても揺れた時に頭ぶつかった!)。CMACの方から30分ほどの説明を受けました。多くの作業者がこのCMACで懸命に撤去を続けていて、それぞれの場所で撤去が終了すれば、人々がそこに村を作って農業ができ、道路や学校が出来るようになるそうです。私は、カンボジア国内全域での撤去は2019年に終わる予定だ、と聞いて嬉しくなりました。早くその作業が終わって欲しいです。説明の後に、撤去をしている現場を間近で見学させてもらいました。手作業で地雷から火薬を取るところは、見ているだけなのにとても緊張しました。また地雷をまとめて爆発させるところも見学させてもらいました。物凄い迫力で怖かったです。CMACの後は昼食のカンボジアの鍋を頂きました。とてもおいしかったです。昼食後は伝統工芸品の専門学校の見学に行きました。この学

校は高校に様々な理由で行けなかったり、障がいを持っていたりする方に向けて無償で伝統工芸の技術を教えるところです。たくさんの種類の工芸品と、学生さんたちの技と集中力に驚かされました。その後は市内のスーパーマーケットとお寺へ行きました。とても楽しかったです。ホテルへ戻ってチェックアウトした後は、ロビーでゆっくりお菓子を食べたり、トランプで遊んだりしました。空港でも少し時間があつたので軽食を取りました。本当はもっとゆっくりしたかったです。帰りたくなかったです。この空気をずっと吸っていたいな、と思いました。でも帰らなきゃいけないから、またいつか行こうと思いました。

T.M

今日は、実際にシーマックの地雷処理現場に行って話を伺った。地雷を掘り起こす所も見学し、最後には、地雷の爆発処理を見学した。とても勉強になった。午後は、時間が余っていたので、専門学校や、お寺に行ったりした。専門学校は、木彫りや、壁画などを作るための学校で、作品はとてもすごかった。お寺は、恋愛関係のお寺に行った。ホテルに戻って、シャワーを浴び、ロビーで3時間、暇してました。9時にホテルを出発し、韓国経由で日本に帰りました。この、カンボジアの旅はとても勉強になったし、楽しかったです。

R.F

今日は、CMACの地雷処理の現場を見学した。着くまでの車のゆれがすごかった。少し話を聞いてから、ヘルメットと重たいベストを着て、現場に歩いて行った。少しこわかった。中の火薬を取る処理法とばく発させるのを両方見た。火薬を取るの、見ていてとてもドキドキした。ばく発させるのは、カメラのムービーでとった。ものすごい音、迫力だった。あれで人が吹き飛ばされるなんて・・・どこまで飛ぶんだろうと思った。あまり想像ができないから、具体的にわからないけど、人々にとって最悪のもの、すごく怖い物ということはわかった。帰りの車もゆれがすごかった。昼ご飯を食べるお店に行く途中に、世界遺産らしきものがあり、記念撮影をした。お昼は、クメール料理？を食べた。おいしかった。次は、専門学校に行った。アンコールワットにもあつたような、石のちょうこくや木ぼり、シルクの機織りなどをしていた。どれも細かい作業ばかりで、わたしだったら、途中でやめてしまうと思う。『この学校に通っている人たちは、すごい人だなあ。』と心から思った。デパートでは、オレオを買った。それから、ピエップさん（ガイドさん）におすすめのお菓子を聞いたら、プリッツみたいなお菓子を、おいしいと言われて買っていた。わたしも買おうと思って探したけれど、見つからなかったの、あきらめた。それと、意味不明な名前のお菓子がいっぱいあつた。1番おもしろかつたのが「恋のはさみ心ケーキ」だ。あと、「コアラのマーチ」のまねのような、まったくかわいくないキャラクターのお菓子もあつた。アイスを買って、デパートを出た。オレオアイスにしたら、おいしかったけど、甘すぎた。次は恋愛のお寺に行った。ここのお寺はききめがあるらしい。ピエップさんの両親も子どもができないときに来ていたそう。恋愛のお寺だけれど、勉強のお祈りをしておいた。ホテルに戻ってからは、荷物を男子の部屋に持っていく、男子の部屋でシャワーを浴びた。最初にひとみさんが入ったら、20分くらいかかっている、全体的におくれた。光舟と哲宗は3分くらいで上がってきて、ビックリした。みんなシャワーを浴びて、6時になったから、ロビーに移動した。まず、アンケートを書いてから、6人でコンビニに行った。谷口さんにおつかいをたのまれた。お菓子を買おうと思ったけれど、みんなを待たせていたので、やめた。ホテルにもどって、お菓子を食べた。（デパートで買ったオレオ）それと、トランプで大富ごうをした。楽しかった。ホテルを出て、空港に着いた。ピエップさんと、バスの運転手さんと写真をとった。最初のころは、早く日本に帰りたかった。だけどあつという間で、帰るころには、もっとカンボジアで遊びたいと思った。また、カンボジアに行くぞ！！